

神奈川県立みどり養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和4年度 第4回みどり養護学校運営協議会	
開催日時	令和4年2月22日(水)10:00~12:00	
開催場所	みどり養護学校会議室	
出席者	神奈川県立みどり養護学校 学校運営協議会委員9名(本校校長を含む) 神奈川県立みどり養護学校 学校運営協議会事務局教職員 10名	
次回開催予定日	未定	
問い合わせ先	みどり養護学校 副校長 菅原 肇 電話 045-471-7941 Fax 番号 045-474-4707	
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由
審議(会議)経過	<p>審議(会議)事項</p> <p>1 学校運営協議会会長挨拶</p> <p>2 学校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応について ・令和4年度修学旅行・宿泊学習の実施結果について ・特別支援学校の新設について <p>3 学校評価部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度学校評価アンケートについて ・令和4年度年間評価について <p>(1)教育課程・学習指導 <質問・意見></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○清掃技能検定マニュアルはどのようなものか。 ⇒平成27年から教育委員会で行われている検定試験のマニュアルを使用している。自在ぼうき、スクイジー、ダスタークロス等の道具の使い方を学んでいる。</p> <p>○小学部の課題分析表は、今年度の具体的な成果と考える。 ⇒低学年はごみを拾う、ごみを入れる。高学年はごみの分別、机ふき、ダスタークロス、ホウキの使い方等の学習を行い、成果が出てきている。</p> <p>○清掃について、家庭でも取り組んでいけるように考えてほしい。</p> <p>○人権教育について。5つのグループに分かれておこなっているが、せっかくの良い取組なので評価報告書に記載した方が良い。 ⇒令和2年度は人権課題について教職員全体で考えた。令和3・4年度は人権教育研究指定校として取り組んだ。今年の1月に公開授業を行い、教育委員会や文部科学省の方が来校し、成果をまとめることができた。そのことを文章にしたい。</p> </div> <p>(2)児童生徒指導・支援 <質問・意見></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○太田ステージなど、客観的な評価は参考になる。個別教育計画に反映させるとは、具体的にどのようなことか。 ⇒支援連携グループの教員に授業を見てもらい、担任と一緒に個別指導計画を考えている。結果を実態把握表に記入し、そこに反映させている。それをもとに、個別教育計画を立てている。</p> <p>○段階を考えて指導されていると思う。アセスメントが得意な先生、不得意な先生もいる。取り入れることによって、先生方同士で実態把握がずれないようになる。もともとやってきたことを、よりわかりやすくしたことで結果がどうなったのかを知りたい。</p> <p>○アセスメント実施数、フロントゼロ実施数が書いてあり、小3の結果がでていますが、ほとんどの実施ができているのであれば100%など、数値化すると評価しやすいのではないか。 ⇒数値の上昇がなく、評価の観点に合わなかった。数だけではという意見もいただいたので、実施した様子を入れて説明できればと考えた。</p> <p>○センター的機能について、横浜の学校と神奈川の学校との違いなど、難しさについて課題があれば教えてほしい。</p> </div>	

⇒支援級の先生は良く勉強されているが、それでも困ることを一緒に考えている。通常級の児童についての相談が多い。座席の位置を変えるだけで改善することもある。別の部屋を用意した方が良いと提案したら部屋が無いなど、学校全体を考えて助言しないと、困らせてしまうこともある。

○「センター的機能があるから相談してみたら」と小中学校に伝えている。仕組みや手続きの問題から、中学校が難しい。メリットと課題を整理すると発展していくと考える。

⇒小学校から電話があるが、中学校からはあまりない。研究・研修会を通して、相談数が増えてきた実感がある。本校にはSTとOTがいる。関連の相談も来ている。

○普通に特別支援学校でやっていることが参考になる場合がある。それをするとだいぶ違うということが浸透していないことがある。何気ないことが大きかったりする。

- (3)進路指導・支援
 - <質問・意見> なし
- (4)地域等との協働
 - <質問・意見>

○地域との協働の中で、いろいろな活動をされている。仲町台の商店街での仕出し等をやっている。先生方の努力による、学校と様々な団体、地域との関係があってこそ、継続していると思う。こうした活動を進めていければと思う。

- (5)学校管理・学校運営
 - <質問・意見> なし
- (6)全体をとおして
 - <意見>

○大学でも学校評価に取り組んでいる。数値で出すことも大切だが、具体的に子どもの姿がどう変わるかを評価していく。フロントゼロによる具体的な変化を、子どもの姿で語れるようになると、評価が立体的になる。

○校外学習の場が増えてきた。校外でなければ学べないことが多くある。ぜひ来年度は東本郷小学校との交流・共同学習を、計画的に話し合っ進めていきたい。

○評価を書く立場にいる。私の場合は地域の課題を見つけて、解決するために仕掛けるが、仕掛けで終わらないようにしている。どう終わったかを評価に反映させるとよい。東本郷地域ケアプラザとは、コロナの影響で協働することができていなかった。5月を踏まえて、今後は協働をしていきたい。

○アセスメントはしっかりできている。PTAでスクールバス遅延のときの到着連絡がないことが話題になる。到着連絡がほしい。

○地域としてはいろいろな諸行事等がある。公園のお花について、自治会でも草取り等を年に2回やっている。一緒にできないかと思う。まずはできるところから計画していきたい。東本郷自治会は2年で役員が全部変わる。地域のボランティアが積極的に参加するのが一番だが、高齢化もある。参加できる方をうまく活用したい。コロナ後も安全安心を確保しながら共有してることが課題である。

○トンネルの先が見えてきたが、コロナ前の当たり前が消えた。大学の定期試験に戸惑う学生がいる。様々なことについて、学生は知らないまま大人になる。子どもが経験値として得ていないという視点がある。

○みどり相談室は良い取組である。大人はどうしてもゴールを考えて逆算してしまうが、大人の都合になりかねない。それでもぜひゴールを示してほしい。保護者が学ぶ機会を作ったことが良かった。

○避難訓練で先生方が丁寧に子どもたちに接していた。それは人権教育研究指定校になった大きな成果であると考え。今後も丁寧な指導をお願いしたい。

○言語表出の苦手な生徒が多い。生徒が何を求めているか、教員の想像力が大切である。日頃から考えている方は、自然と出てくると思う。実は一般社会の人間関係もそうである。これをしたら周りはどう感じるか、想像力が大切である。様々な工夫をして良い成果を出しているの、今後も想像力を豊かにして取り組んでほしい。

○アンケートの回収率はどのくらいか。
⇒保護者は2/3、教員は80%程度

○できれば教員は100%を目指してほしい。多くの方のご意見をもらってほしい。

5 事務連絡 なし

会議資料

- ・第4回学校運営協議会次第
- ・学校評価スライド
- ・令和5年度みどり支援学校施設環境について
- ・令和4年度 みどり養護学校教室配置図
- ・第1回学校運営協議会記録
- ・第2回学校運営協議会書面開催回答